

老朽化した空き家対策を急げ

町長 協議会を設置し、対策計画を策定する



菅原俊一議員

危険な空き家対策

問

前回調査から2年が経過し老朽化が進んでいる。早急な対策が必要ではないか

町長

25年度調査では、空き家が372件、危険と思われるものが53件、特に危険が切迫しているものが9件あった。今後、追加調査を行うと共に、専門家や学識経験者、自主防災組織の方々と協議会の設置と「空き家等対策計画」を策定する。

問

空き家放置によるデメリットの周知は。

町長

納税通知書にチラシを同封するなど、様々な機会に周知する。

解体助成金を望む

問

費用問題で解体が進まないのでは。

町長

防犯・環境上の観点から、地域の合意形成、所有者の確定などの課題を解決後、自主防災組織や地域で対応を行う場合、支援を検討する。

地域ブランド「SHIRATAKA RED」の立ち上げを

しらたか

レッド

町長 商標登録も視野に、ブランド力の向上に努める



やわらかいうちに摘むぞ

SHIRATAKA REDのブランド化を

問

ブランド化は頑張る生産者の励みになる。大きな展開を望む。

町長

ブランド化は27年3月に策定した「白鷹町観光交流推進計画」の中に盛り込まれている。食品に限らず紅（あか）にこだわったものをPRしていく。商標登録も検討しながら複数のメディアを活用し、情報発信していく。

情報発信にドローンの活用を

問

ドローン（無人航空機）は、町の美しい風景や季節ごとのイベント、災害現場の現状の撮影等、多方面で活用が見込める。是非、積極的な活用を。

産業振興課長

様々な分野での利活用が期待される。町としては業者委託の方向で活用を前向きに検討したい。